

主催：千葉県

受講料
無料

令和6年度

日本語学習支援と 文化理解を学ぶ講座

in 千葉県

—多文化共生のまちづくりをめざして—

新たに日本語学習支援を行う方を対象とした基礎講座です。

日時 2024年 **11/7, 14, 21, 28, 12/5**

毎週木曜日 13:00～15:30 (オンライン開催)

定員 30名 (先着順。ただし未経験者を優先します。)

対象 以下の要件を全てを満たす方

- ✓ 18歳以上の千葉県民の方
- ✓ 日本語学習支援活動を始めたい方
- ✓ **5回全ての講座に参加できる方**

※当センターが過去実施した「日本語学習支援者基礎研修」・「日本語学習支援と文化理解を学ぶ講座」を受講した方は応募できません。

申込 下記URLまたは右の2次元コードより
お申込みください。

<https://req.qubo.jp/mcic/form/R6nihongokiso2>



締切 10月25日(金)

内容の詳細については、裏面をご覧ください

実施・お問い合わせ先



公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー
千葉県国際交流センター

TEL: 043-297-0245 E-mail: nihongo@ccb.or.jp

講座内容

第1回 11月7日(木)

『学習者の背景を理解し、「文化」とは何か、「多文化共生」とは何かを考える』

地域日本語教室が対象とする学習者についての理解を深め、「多文化共生社会」においてそれぞれ「文化」をどう捉えていけばよいのか、みんなで考えます。



＜担当講師＞
徳永 あかね
(神田外語大学 外国語学部准教授)

第2回 11月14日(木)

『やさしい日本語でやさしい交流・コミュニケーションの基礎を学ぶ』

やさしい日本語とは何でしょうか。日本語でのやりとりに慣れていない外国人との相互理解には工夫が必要です。コミュニケーションの大切なポイントを一緒に学んでいきましょう。



＜担当講師＞
高橋 道恵
(千葉科学大学 日本語教育非常勤講師)

第3回 11月21日(木)

『市民活動としての学習支援の方法』

ひとりひとりの居場所のある地域社会をめざすために、学習支援の具体的な方法を皆さんと一緒に考えていきます。事例やグループワークを通し、地域の日本語学習における「対話」のポイントを学びます。



＜担当講師＞
吉田 曜子
(国際協力日本語学院 日本語教師)

第4回 11月28日(木)

『学びの場(地域日本語教室)の実践』

多様な人々が集まる「学びの場」だからこそ可能になる活動とはどんなものがあるのでしょうか。相互理解を目指した教室活動の実践やグループワークを通して、「対等な立場として学習者の学びに伴走するにはどうしたらいいか」を学びます。



＜担当講師＞
油川 美和
(千葉県地域日本語教育コーディネーター)

第5回 12月5日(木)

『外国につながる子どもの現状と課題』

地域に住む外国につながる子ども達とその保護者の現状と課題を学びながら、支援するために必要なことを皆で考えてみませんか。これまでの学びを振り返りながら皆さんが「多文化共生のまちづくり」にどう関わっていけるかを考え、次への一歩を目指します。



＜担当講師＞
吉野 文
(千葉大学大学院 国際学術研究院教授)

講座では毎回グループワークを行います。
必ず声を出せる環境、
カメラ・マイクオンで
ご参加ください。

《注意事項》

- ・本講座は文部科学省の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用して実施するものです。講座では、カリキュラム改善を目的として講座の様子を録音、録画する場合があります。また、講座内でのアンケートや振り返りデータを使わせていただきます。データは個人が特定されない形で文化庁に提出するとともに、研究会等での発表に使用可能性があります。ご理解、ご了承のうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。
- ・本講座は千葉県主催の講座です。市町村国際交流協会実施が主催する日本語教室に参加をご検討の方は、一部の教室で協会主催の基礎講座の受講が参加条件となっている場合があります。詳しくは、ご希望の教室に直接お問い合わせください。